

議事録

第 0 1 回	
会 議	令和 6 年度田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略評・価検証会議 第 1 回田辺市デジタル田園都市総合戦略有識者会議
日 時	令和 6 年 7 月 18 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
場 所	本庁 6 階 第 2 委員会室
出席本部員	藤田委員、多田委員、坂本委員、愛須委員、田野委員、橘委員、吉水委員、山口委員、 中辻委員、笠松委員、古久保委員、永井委員、馬場崎委員、後藤委員、山本委員、野村委員
欠席本部員	眞砂委員、山口委員
事務局	【田辺市】木村企画部長、竹本企画広報課長、水野企画広報課参事、富田企画員、鈴木主査 【株式会社長大】西坂、葛原、（野尻）、（深澤） ※（ ）は Web 参加
出席職員	狼谷たなべ営業室長、吹揚子育て推進課長、山本母子保健係長、大西商工振興課長、 中野観光振興課長、蟬農業振興課長、西尾梅振興室長、西水産課長、井谷林業振興係長、 熊野スポーツ振興課長
議事次第・ 会議資料	1. 開 会 2. 市長挨拶 3. 委員紹介 4. 座長選任 5. 議 事 （1）令和 5 年度の評価・検証について ①第 2 期田辺市総合戦略及び田辺市人口ビジョン（概要）…………… 資料 1 ②第 2 期田辺市総合戦略 進捗状況報告（検証結果報告）…………… 資料 2 ③地方創生交付金 K P I 達成状況…………… 資料 3 （2）田辺市デジタル田園都市総合戦略（第 3 期総合戦略）策定の進め方 ①デジタル庁が進める「デジタル田園都市国家構想」について…………… 資料 4 ②第 3 期総合戦略策定の推進体制…………… 資料 5 ③第 3 期総合戦略策定の進め方…………… 資料 6 ④第 3 期総合戦略策定のスケジュール…………… 資料 7 （3）各種アンケート調査について ①各種アンケート調査実施概要…………… 資料 8-1 ②結婚・出産・子育てアンケート調査 調査票（案）…………… 資料 8-2 ③移住者アンケート調査 調査票（案）…………… 資料 8-3 ④高校卒業後の進路（希望）アンケート調査 調査票（案）…………… 資料 8-4 ⑤第 2 期総合戦略重要度・評価調査 調査票（案）…………… 資料 8-5 （4）関係団体、課室ヒアリング調査について ①関係団体、課室ヒアリング調査実施概要（案）…………… 資料 9 6. その他 7. 閉 会

議事録

第 0 1 回

議事次第・会議資料に基づき、「令和6年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証会議及」び「第1回田辺市デジタル田園都市総合戦略有識者会議」を行った。「1.開会」から「4.座長選任」の進行は田辺市企画広報課の竹本課長が務め、座長選任後の「5.議事」からは和歌山大学経済学部准教授の藤田和史委員が務めた。会議の記録は以下のとおり。

1. 開 会

2. 市長挨拶

■ 開催にあたり真砂市長から挨拶

- ・ 第1回田辺市デジタル田園都市総合戦略有識者会議を開催し、委員の皆さんに参加いただいていることを有り難く思う。平素からご理解とご協力をいただいていることに感謝するとともに、本会議の委員への就任を快諾していただいたことに重ねて御礼を申し上げる。
- ・ 国では急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口減少に歯止めを掛けるとともに、東京への過度な人口集中を是正し、将来にわたって活力のある日本社会を維持していくため、地方創生の取組が進められてきた。しかし、未だ急速なペースで人口減少や少子高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少が経済成長の制約につながることが懸念されている。
- ・ R4年度には、国からデジタル田園都市国家構想が新たに示され、従来の総合戦略の流れを継承しつつ、デジタルの力を活用し、地方創生の取組をより発展させる内容が盛り込まれた。
- ・ 田辺市でも第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の下、様々な地域の課題解決、魅力向上に向けた取組を実施し、地域活性化に取り組んできたが、これらの流れをデジタルの力を活用して継承、発展させていくことが重要だと考えている。
- ・ 現行の総合戦略の進捗状況等について評価・検証し、国の動向を踏まえた新たな総合戦略を今年度策定するとともに、総合戦略の基礎となる人口ビジョンについても併せて見直しを図る。
- ・ 委員の皆さんとともに、次期総合戦略の策定に向けた取組を進めていきたいと考えているため、忌憚のない意見をいただけるようお願いしたい。

3. 委員紹介

4. 座長選任

- 設置要綱の規定に基づき、本評価検証会議・有識者会議では委員の互選により座長を選出した。
- ・ 和歌山大学経済学部准教授の藤田和史委員をお願いしたいと考えている。(事務局)
 - 異議なし。(委員)
 - 承知した。(藤田委員)

5. 議 事

(1) 令和5年度の評価・検証について

- ① 事務局から委員へ田辺市の地方創生コンセプトについて説明した。(資料1)
 - ・ 「人の流れをつくる」ことを最重要テーマとする。
 - ・ そのために「安定したしごとづくり」、「結婚・出産・子育て支援」の取組を進め、新たな人の流れを創出・拡大する。「暮らし続けることのできるまちづくり」を着実に推進する。
- ② 第2期田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標(KPI)の達成状況について報告した。(資料2)
 - ・ 【基本目標1-転出超過数】：R5の実績値は434人で前年度と比べ12人減少し、目標値の達成には至ら

議事録

第 0 1 回

なかったため評価はD。

- ・ 【2. 移住相談件数】：R5年度の実績値は284件で前年度と比べて120件減少し、目標値の達成には至らなかったため評価はD。今後も田辺市での暮らしの魅力を発信し、相談対応や現地案内へと繋げていくため、県や自治体と連携しながら都市部での相談会への参画やオンラインによる移住相談などに積極的に取り組むとともに、移住サイトの充実やSNS・メディアを活用した情報発信等に努める。
- ・ 【5. 移住支援制度活用件数】：R5年度の実績値は16件で、前年度と比べ2件増加したが、目標値の達成には至らなかったため評価はC。移住施策の中でも特に実効性が高い移住支援制度の積極的な活用を推進する。
- ・ 【13. 本市が行う関係人口の施策を通じての地域活動の実践者〔累計〕】：R5年度の実績値は83人で、前年度と比べ3人減少したが、累計目標値の100人を達成。講座終了後も引き続き定期的にオフ会やイベントを開催するなど継続した関係性の構築に取り組む。
- ・ 【基本計画2-新規就農者数（累計）】：R5年度の実績は15人で、前年度と比べ5人減少し、累計目標値の250人に対する達成度は27.2%であったため評価はD。今後も各産業分野において安定したしごとづくりの強化が必要である。
- ・ 【15. 新規就業者数（農業）〔累計〕】、【16. 新規就業者数（林業）〔累計〕】、【17. 新規就業者数（漁業）〔累計〕】、【25. 新設事業所の従業者数〔累計〕】、【26. 企業立地促進奨励金指定事業所の従業者数】：いずれも評価がD。R9年度の目標達成に向けて各産業分野において安定した仕事作りの強化に努める必要があると考えている。
- ・ 【19. 主要農産物生産量（みかん）】：R4年度から本統計の調査方法が変更されたため、当初設定した目標値との整合性が取れなくなった。乖離率が約71%となっていることを加味し、当初目標としていた目標値に71%を掛けた数値を新たな目標値として設定し直したいと考えている。
- ・ 【24. 漁獲量】：R5年度の実績値は1,039tで、前年度と比べ1,182t減少し、当該年度の目標値を大きく下回ったため評価はD。漁獲高の大宗を占めるまき網漁がかつてないほど不良に見舞われたことが原因である。
- ・ 【27. 1事業所当たりの製造品出荷額等】：R4年度の実績値は445,051千円で、R3年度の実績値310,538千円と比べ134,513千円増加し目標値を達成しているため評価はA。
- ・ 【基本目標3-合計特殊出生率／出生者数（累計）】：H30年からR4年までの田辺市の合計特殊出生率は1.51となり、目標値を下回ったため評価はC。R5年度の出生者数の実績値は314人。累計目標値の3,000人に対する達成度は51.8%となり評価はD。結婚・出産・子育てに係る切れ目のない支援を行い、安心して子供を産み育てられる環境づくりに努める。
- ・ 【37. 妊婦健康診査受診率】：R5年度の実績値は96.7%で、前年度と比べ1.0ポイント増加し、目標値を達成しているため評価はA。
- ・ 【基本目標4-中心市街地に魅力があると思う市民の割合／山村地域の振興や活性化が図られていると思う市民の割合】：最終年度に行う市民アンケート調査の結果で評価する想定としているため、本年度の単年度は評価外としている。
- ・ 【44. 商店街における新規出店件数（累計）】：R5年度の実績値は17件で、前年度と比べ10件増加し、累計目標値の35件に対する達成度は108.6%となり評価はA。市街地活性化施設運営事業や田辺ONE未来デザイン構想と関連させ、空き店舗の解消に努める。
- ・ 【45. 田辺市文化交流センター「たなべる」】、【46. 南方熊楠顕彰館入館者数】、【48. 扇ヶ浜海水浴場来場

議事録

第 0 1 回

者数】：いずれも令和２年度のコロナ禍以降、数値が大きく下振れているが、年間回復傾向にあることが分かった。令和５年度実績はコロナ禍前に近い水準に戻ってきているが、目標値には達していない。関連する各種イベントの開催や関係機関との連携により、目標達成を目指す。

③ 地方創生交付金事業の KPI の達成状況について報告。(資料 3)

- ・ みなべ町との広域連携事業「持続可能な地域を創生する世界の運用遺産活用戦略推進事業」は、南部田辺地域世界農業遺産推進協議会において評価現象を行うこととなっている。
- ・ 【まちにコミットするローカルイノベーター創出事業（地方創生推進タイプ）①】：KPI に設定している４項目の達成状況は、「本事業を通じた移住者」のみ４年間で１０人（目標 15 人）となり未達成だが、他３項目では累計目標を達成している。
- ・ 【多様なツーリズム推進事業（地方創生推進タイプ）②】：KPI に設定している４項目の達成状況は、「本事業でコンテンツ化した旅行商品の取り扱い件数」のみ４件（目標 20 件）で目標未達成。他３項目では累計目標を達成。
- ・ 【観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業（地方創生推進タイプ）③】：設定している KPIのうち、「耕作放棄地および植栽放棄地の活用」は実績が２件（目標値 3 件）で未達成。「観光客入込客数」は目標を達成した。
- ・ 【スポーツ合宿を核とした交流人口創出事業（拠点整備タイプ）】：設定している３項目の全てで目標を達成。地方創生に大きな効果があったものと考えている。

■ 質疑応答・意見

- ・ 意見・質問はなし。

(2) 田辺市デジタル田園都市総合戦略（第 3 期総合戦略）策定の進め方

- 事務局から委員に、デジタル田園都市国家構想交付金の概要、第 3 期総合戦略推進体制、総合戦略策定の進め方について説明した。(資料 4～6)
- ・ 第 3 期総合戦略推進体制について、庁内では田辺市デジタル田園都市総合戦略推進本部を今年度中に４回、庁外では田辺市デジタル田園都市総合戦略有識者会議を今年度中に４回、田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証会議は毎年１回の開催としている。
- ・ このほか市民参画の観点で、総合戦略素案の取りまとめ後にパブリックコメントを実施することとしている。
- 質疑応答・意見
- ・ 基本的な方向性は、国が推進するデジタル化やデジタル田園都市国家構想の考え方に沿うものと考えている。デジタルは手段であるという考えの下、これを上手く活用し、目指す姿を形作って行くことになろうかと思う。(A 委員)

(3) 各種アンケート調査について

- 長大から委員へ各種アンケート調査の実施概要・方法について説明した。(資料 8-1)
- 質疑応答・意見
- ・ 結婚や子育てにはお金が掛かる。結婚された際に結婚資金を支給する必要があるのではないか。また、

議事録

第 0 1 回

第一子が生まれた際には10万円程度追加で支給することが望ましい。(B委員)

➤ この度のアンケートやヒアリングによってきちんと現状を把握し、子育て世帯がどのような支援を求めているのか確認させていただく。KPIの設定も含め今後の策定に生かすつもりである。(事務局)

- ・ 市民対象の資料8-5のアンケートについて全市民が対象とのことだが、想定回収400という数字は妥当性があるのか？(C委員)

➤ アンケートの信頼度95%は一般的に400票と言われている。年齢別や居住地別のクロス集計等の信頼度を高めるためにも400票を目標とさせていただきたいと考えている。(長大)

- ・ アンケート内に農林水産業系の質問項目が無いように思うが、どのような考えか？(D委員)

➤ 農林水産業関係団体へは、ヒアリングという形で別途聞き取り調査を行うこととさせていただいている。(長大)

➤ 関係団体や各課へのヒアリングのみで現場の声がカバーできるのか、少し懸念に思う。(D委員)

(4) 関係団体、課室ヒアリング調査について

- 長大から委員へ関係団体・課室ヒアリング調査の実施概要について説明した。(資料9)

- ・ ①しごと(雇用)、②人の流れ、③結婚・出産・子育て、④地域づくりに関する団体・課に意見を伺うこととしている。(長大)

- 質疑応答・意見

3月末までに実施すべき業務が盛り沢山だという印象だ。デジタル化やデジタル人材の育成は急務。ヒアリングにて専門的な意見を吸収していただき、スピード感を持って無理をしても総合戦略に落とし込んでいただくことが望ましいように思う。(E委員)

➤ ヒアリングの中で皆様のご意見や課題等をお聞かせいただければと思う。(事務局)

- ・ 実際、デジタル化が一番遅れているのが行政だと思う。行政手続き等も含めて、今後一気にデジタル化を進める必要がある。(F委員)

6. その他

- ・ 人口減少が進み、観光分野においては労働力不足が顕在化している。来訪者は多いが、それを受け入れる側の体制が脆弱。デジタル化すべきはデジタル化し、人手が必要な部分に労働力を当てられるような計画になることが望ましい。(G委員)
- ・ 人ができることと、デジタルに任せれば済むことを整理し、人がしなければならないところに傾注していく。人手不足は観光に限らず、交通、一次産業も含めてどの分野においても課題になると思うので、各分野における対策をヒアリングの中で課題とともに聞かせいただきたい。(事務局)

7. 閉 会